

新白根町商工会誕生

—商工会事務所設置と新事業計画—

町内合併にともない、各地区商工会の合併につき各方面より注目を集めていたが、地区商工会代表者協議会を数回にわたって開き、町合併に合併が決定した。

新しい商工会の会則、事業計画は、新生白根町にふさわしい積極性と、新鮮さをもっているが人口四万の大白根町となった。

今日、商工会事務所の設置が各方面から強く望まれていたが、合併した町商工会事務所設置への気運がさらに高潮し、独立の事務所を設けて、新事業計画を活発に推進しようとしている。

信用保証協会支所の設置、国民金融公庫、産業育成資金の増額拡充につとめるとともに、金融機関と密接なる連絡をとり金融の円滑化をはかる。

◆**税務対策**
青色申告の指導、および納税の促進を図る。

◆**工場振興対策**
既設工場の育成伸張につとめ工場誘致には町当局とタイアップして、強力な運動をする。

◆**電信網、交通網対策**
電信網および交通網対策には関係機関の協力をえて、拡充整備につとめ、商工業の発展により文化的大白根町たらしめる。

◆**役員**
役員については、従来の会員のほか、準会員制を設け、左官職、大工職等、これらの職業者をも加えた、幅広い企業体をもつ組織されようとしており、相互の援助と協力によって、激動する経済状況に對決して、発展する白根町を建設する意欲に燃えている。

白根地区労協結成

—理研など七単組参加—

白根近辺の労働者の福祉の増進と、同一地域の各労働組合の交流と、生活水準の向上をめざす白根地区労働組合協議会(略称白根地区労協)は、去る二月十六日、町役場で結成大会をひらき発足した。

地区労協の参加組合は、理研電線、東北電力、電通、全通、西部トラクタ、新潟電鉄通運、星野製作所、計七組合、五百三十名を擁する。

結成大会は、議長、宮島清吾(電鉄)、副議長、近藤力三郎(理研)、事務局長、高野利男(電鉄通運)が選出された。

今後、白根地区労協は、近接地区労協(巻、新津、新潟、三条等)と提携し、消費組合の設置や、組合員の福祉の増進に活動に運動するものとみられる。事務所は、味方村新潟電鉄通運労働組合事務所。

解説

いよいよ、五月一日から連発式パチンコが廃止される。業者は単発式に転行営業しなければならなくなつた。これは鳩山新内閣の方針により、各県公安委員が命令を定め当県の場合は連発式禁止を五月一日から実施するようになったもの。

敗戦後、パチンコの隆盛は識者の批判を浴び、パチンコ文化という代名詞まで生れ、ドラクした日本風俗のシンボルとして、その存廃につき各方面より論じられてきたが、とくに連発式の出現により、社会的に直接間接的に犯罪を誘発し、パチンコに夢中になって勤労時間さえギセイにして生産意欲をいぢるしく減らされ、さらに連発式は技術の優劣により玉の出る出ないの差はなく、たゞ手を動かして玉を弾いているにすぎず、技術と加えて景品の現金化は犯罪を誘発した。そして家庭を忘れ、仕事を放り出してパチンコによる社会的家庭的悲劇も生れた。これらの観点から鳩山内閣は連発式を禁止し、健全な娯樂を復活し、失われた勤勞意欲をよびさまして、生産的なものを生み出そうというもので、この条例の実施により当町のパチンコヤも廃業か、単発式営業に転換するかの、岐路に立っている。

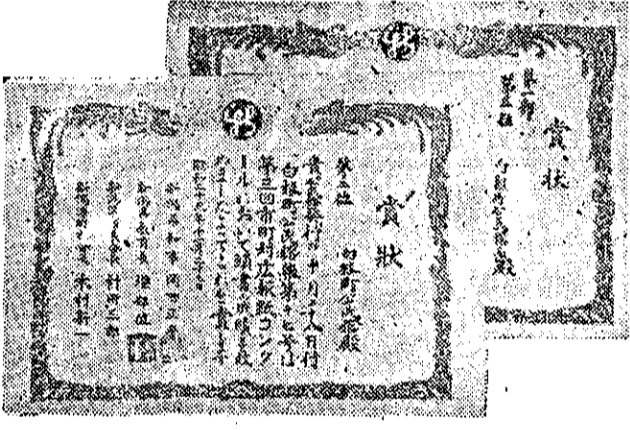
しかし、町内においてパチンコヤの廃止は昨日の昨日のおもかげはなく、パチンコヤの門をくぐることさえきまりが悪いのが現状。パチンコヤに入りびたつていふ人のめつきり減少し、このような昨今のパチンコの衰えからみて、マニヤの射撃心を満足させてくれた連発式の味は興味半減の単発式に魅力を感じさせるにはあるまいか、と、みこのタイムリーなパチンコヤの健全性をとりもどそうとする、現内閣の措置は明るい話題ではある。

連発式パチンコ禁止

五月一日より実施

公民館報二位に入賞

昭和三十九年度新潟県公報紙コンクールに、白根町公民館報は(タブロイド版の部)二位に入賞。(二十八年度三位)賞状および県知事賞を受けた。



白根クラブ優勝

—巻地方籠球大会—

三月廿日、巻町中学校において、巻町合併祝賀籠球大会が十六チームを集めて開かれ、白根クラブは善戦、敢闘して優勝した。

白根クラブは田村(横町新商OB)堤(七軒新大OB)丸山(横町新商OB)小林(横町北商OB)近藤(三ノ丁明高OB)のOBに平野(横町北商)武田(五ノ丁北商)塚田(横町新商)笹川(横町新商)と現役連を加えたメンバーで対戦し、現役の激しいファイトと、果敢なプレイは他チームを圧倒し、巾の広いは鋭い好シュート、小柄ながらフオローをよくとり、好パスをみせた塚田、小林のカットイン等は会場をならせたが、中になつて勤勞時間さえギセイにして生産意欲をいぢるしく減らされ、さらに連発式は技術の優劣により玉の出る出ないの差はなく、たゞ手を動かして玉を弾いているにすぎず、技術と加えて景品の現金化は犯罪を誘発した。そして家庭を忘れ、仕事を放り出してパチンコによる社会的家庭的悲劇も生れた。これらの観点から鳩山内閣は連発式を禁止し、健全な娯樂を復活し、失われた勤勞意欲をよびさまして、生産的なものを生み出そうというもので、この条例の実施により当町のパチンコヤも廃業か、単発式営業に転換するかの、岐路に立っている。

戦績	一回戦	二回戦	準決勝	決勝
白根	24	47	43	36
対戦相手	1410	3017	2221	1818
得点	135	1512	1614	1514
失点	18	27	30	29
勝率	0.75	0.75	0.75	0.75

白根町閉町式が挙行

白根、新飯田、庄瀬、英會根、小林、白井、鷲巻、大柳、根岸の八ヶ村が合併することとなり、三月三十一日より人口三万七千余の大白根町が新しく発足すること決定された。

白根町では、三月二十七日午前十時より白根小学校講堂において、閉町式が挙行され、白根町の功業者、野次吉太郎、吉川吉五郎、石山賢吉、加藤清次郎氏に表彰状ならびに記念品を、又町機関各係各団役員に、感謝状および記念品をそれぞれ贈呈された。

県福祉対策協議会白根支部発足

—十円牛乳も計画—

三月五日、県会より一五万円の援助を受けて結成をみた新潟県労働者福祉対策協議会(略称福祉協)は、県下各地で支部を設置しつゝあるが、白根地区労協内でも同支部を設立した。

労働者の生活防衛、向上は、労働者自身の力で守らう、という見地から、やすい物資の販売、火災共済等の労働者の消費生活を、少しでも支出の節約ができるようにするもの。従来、各企業ごと、組合ごとに個々バラバラに、物資あつた指定購入品購入等が行われていたが、この福祉協の発足を機に、生活向上の観点から、県労協が直接購入し、その成果は期待されている。

公民館だより

町民各位の御要望であった、公民館図書室も、昨年二月より公民館事務所で貸出しを開始以来好評を博したが、約一ヶ年の統計を見ると、次の通りである。

貸出した図書の内訳	冊数
1 図書利用者総数	三〇名
2 貸し出した図書の内訳	二〇〇冊
3 貸出した図書の内訳	二〇〇冊
4 貸出した図書の内訳	二〇〇冊
5 貸出した図書の内訳	二〇〇冊
6 貸出した図書の内訳	二〇〇冊
7 貸出した図書の内訳	二〇〇冊
8 貸出した図書の内訳	二〇〇冊
9 貸出した図書の内訳	二〇〇冊
合計	二、三三冊

新刊圖書の紹介

- 最近の購入図書名
- 吉田 元著 ミシン装飾技術
 - 南塚トキ著 草月流生花装飾習得
 - 勅使河原省風著 草月流生花装飾習得
 - 橋田 合子著 お客料理練習習得
 - 川口松太郎著 蛇姫様
 - 山手樹一郎著 素浪人日和
 - 大仏次郎著 夕焼け富士
 - 村山 元三著 春風吹え唄
 - モリスプラン著 ルパン全集
 - ロジエ・マルタン・デュ・ガール著 チポリー家の人々
 - 佐々木邦著 おてんば娘日記
 - 宇井無愁著 逆立ち娘
 - 北村小松著 結婚期
 - 国分一太郎著 鉄の町の少年
 - 南 達彦著 温泉騒動
 - 池田みち子著 老舗クラブ
 - 鹿島孝二著 良人の冒険
 - 北村小松著 幸福は虹の色
 - その他多数

映画サークルの結成を

各種団体に呼びかける

最近、町内各種団体から、映画サークル設立の動きが活発化し、映画芸術性の認識の音が各方面から聞かれるが、二つの映画館が誕生した時期でもあり、これを機会に映画サークルを公民館に設置するよう、強く要望されている。

公民館報十八号発刊について

新刊発足の諸手續の煩雑等のため編集がおくれ、三月末日の発刊の予定が、青葉若葉の頃によりやく発刊となった。町民諸兄弟の御了承を願いたい。